

# 模試は返却後こそ大事

## — 結果を謙虚に受け止め 新たな勉強を始めよう! —

全学年で、7月に実施した模試の結果が返却されていますが、これは新たな勉強の始まりです。結果を大切な資料として謙虚に受け止め、今後の向上を目指して具体的な行動を開始することが大切です。

特に3年生は、9月以降、毎週のように模試が続きます。心身ともに苦しくなる時もあるでしょう。一喜一憂することなく、着実に弱点強化に努めていけば、必ず本番までに力が伸びていきます。

## 全国模試の目的

### 自分の現在の「実力」と全国での「位置」を知る

模試の結果を見て、自分の現在の状況を正しく理解することが大事です。模試の結果は、自分の現時点での「実力」と全国（志望校）での「位置」を教えてください。

自分にとって厳しくて不都合な「現実」と向き合うのは、勇気のいることです。しかし、それを避けていたのでは、問題は解決しません。むしろ、より悪い方向へ進む可能性が高くなります。「この成績になった原因は何か?」「改善に向けて具体的に何をすればよいのか?」など、自分自身でじっくりと振り返ってみることが必要です。模試に慣れた3年生は言うまでもありませんが、1、2年生も、早期に、自分で的確に「自己分析」ができるようになるべきです。

## ◎ 「設問別成績」・「教科バランス」に注目

### 1・2年生は「英数国のバランス」を重視しよう

#### 特に「英語」は 大学受験を目指す全員にとって重要

個人成績表の中の、各科目の設問ごとの成績（「設問別成績」）を確認しましょう。そして、全国平均や同一大学志望者の平均に対して、自分がどれだけ優れているのか、劣っているのかをしっかりと把握します。得点率が低い分野があれば、そこがあなたの弱点であり、最優先で克服すべき課題だと言えます。

また、特に1、2年生に関しては、「教科バランス」と成績推移に注目しましょう。「英語、数学、国語」の3教科のバランスを見て、「得意教科」・「不得意教科」がはっきり分かれているような人は要注意です。3つの教科の成績に大きな偏りが出ないように勉強していくのが、2年生までの基本です。最終的に、自分の目標を達成していく人の多くが、この3教科の力に優れている人です。

特に、「英語」に関しては、文系・理系を問わず、大学受験を目指す全員にとって重要な教科です。英語が苦手という人は、大至急、これまでの勉強法を改め、克服に向けて行動を起こすべきです。

## ◎ これからの全国模試の日程（9～11月）

模試によって学力の状況を確認していきます。特に3年生は、9～11月は、毎週のように全国模試を受験していきます。「事前と事後の復習」を計画的に進めていきましょう。

### ■ 3 学年

9/16（金）、17（土）	進研・駿台共催共通テスト模試（マーク）
9/30（金）、10/1（土）	全統共通テスト模試（マーク）
10/7（金）、8（土）	進研・駿台共催記述模試（9月マーク模試とドッキング判定）
10/21（金）、22（土）	全統記述模試（10月全統マーク模試とドッキング判定）
10/28（金）、29（土）	進研・駿台共催共通テスト模試（マーク）
11月「東北大オープン模試」	東北大希望者を対象に二次試験に対応した模試を受験する。
11/27（日）	全統共通テストプレテスト（外部会場）（最後の「全国模試」）

### \* 10月の2回の記述模試の結果は「一般選抜」の出願先検討に重要

10月の2つの記述模試の結果は、国公立大志望者にとっては、「仮想国公立二次試験」として、これらの結果と1月の共通テストの自己採点結果とのドッキング判定を行う。そして、そのデータを基に、国公立大の「二次出願先」を決定していくことになる。特に、二次試験で記述式の教科試験が課される人はこれらの模試を目標にして、必要な記述力を増強できるよう計画的に勉強を進めておいてほしい。私立大志望者にとっても同様で、これらの模試のデータが出願先決定の際の重要な参考データになる。

### ■ 2 学年

11/4（金）、5（土） 進研記述模試（ここから先は理社を加えた「5教科型」へ）

### ■ 1 学年

11/5（土） 進研記述模試（英数国）

## ❖ 教育実習生・渡邊史歩さん（国際基督教大（ICU）在籍）より

### 後輩たちへのメッセージ

東高校のみなさんこんにちは。教育実習では大変お世話になりました。

私は5年前に東高校を卒業し、秋田にある国際教養大学に入学しました。今は国際基督教大学で心理学を学んでいます。

私は、受験とその後の大学生活でとても重要な力は自分の意見を論理的に述べる力であると感じています。大学を決める時や、小論文を書く時、面接をする時など、受験や大学の授業では自分が何をしたいか、何を言いたいのかを強く求められるからです。自分の意見は自分1人で出来上がるわけではありません。自分の意見を論理的に述べるには様々な物事を知る必要があります。ぜひ学校の授業、新聞の記事や社説、テレビのニュース、論文、友人や先生との対話などに主体的に耳を傾けてみてください。私は自分が好きなことや、関心があることから始めたら、学ぶことや学校の授業がとても好きになりました。皆さんが好きなことを探し、意見をどんどん育て、自分にとって一番の進路を選べることを応援しています！



## ★ 7/22 3年生 看護の出前講座 「看護の仕事とは」

- ・実施日 7月22日(金) 課外終了後
- ・講師 総合南東北病院  
看護師長 佐藤裕子 氏

・対象 3学年の看護系希望者  
3年生の看護系の希望者の約30名が参加しました。現役の看護師長さんより、体験に基づく講演をいただき、看護の道を志す者にとって、参考となる貴重なお話を伺うことができました。

また、互いの脈を計ったり、聴診器を使って心臓の音などを聞いたりする体験実習を行うことができ、有意義な時間となりました。



### 【参加者の感想まとめ】

- ・看護師の勤務先が病院だけでなく、企業や保育所、災害現場などでも活躍していることを初めて知った。
- ・看護師になるために今からできることとして、受験勉強はもちろん、コミュニケーション能力を高めること、体力をつけることだとお聞きしたので、これからの生活で意識しながら生活していきたい。
- ・職場は、医師や看護師、リハビリスタッフ、事務などお互いを尊重し合う「チーム医療」で、看護師は違う分野の人たちと関わり、リーダーとなってまとめていかなければならないと聞き、これからの学校生活でみんなの話をまとめたり、自ら意見を持って行動できたりするようにしようと思う。
- ・お話を聞いてより一層看護師になりたい(医療に関わりたい)という思いが強くなった。将来の夢を叶えることができるようにこれから受験勉強を頑張りたいと思った。
- ・講師の先生が仕事の内容ややりがいを感じる場面を生き生きと話していらしかったので、看護師という仕事により惹かれました。
- ・聴診器で心音を聞く体験では、簡単には聞こえず難しかった。実際に体験しないと分からないことがあると知った。
- ・今のうちから自分になりたい将来像をイメージし、そこに少しでも近づけるように人との対話を大切に、自分がしなければならぬことを判断していきたい。



- ・患者さんにしっかり寄り添える看護師になりたいと改めて思った。
- ・気になっていたことを質問でき、それに答えて頂き、自分の考えを固めることができた。
- ・看護師の仕事についてぼんやりとしか分らなかったが、講義を通して大変さや重要なことがはっきりと分かった。
- ・治療や薬は日々進化していてそれらについて勉強する研修会がたくさんあると知った。

## 🌻 8/1 「赤フェス2022」開催 古赤本の配布会

- ・実施日 8月1日(月) 課外終了後
- ・対象 3年生(希望者)

今年も、「進路指導費」で購入させていただいている「赤本」で、少し古くなって処分するものを3年生に配布をする会、通称「赤フェス2022」を行いました。

新型コロナウイルス感染予防のため、生徒昇降口前の広場を会場に、野外で、マスク着用のうえでの実施でした。強い夏の日差しの下、志望大学の赤本を手にして、3年生の受験への意識が、一段階上昇したように感じられました。



## ■ 9月の進路関係行事についての予告

### ● 3学年「大学入学共通テスト出願説明会」 **大学入試の始まり**

日時：9月2日(金) 5・6校時

対象：3学年の共通テスト受験予定者

**大学入学共通テストの出願方法**について、進路指導部より説明をします。

現役生については、担任及び進路指導部で出願書類を点検した後、進路指導部で全員分をとりまとめて一括して出願をします。(10月4日(大安)出願予定)

### ● 2学年「先輩講話」 **3年ぶりの復活！卒業生7名が来校**

日時：9月16日(金) 5・6校時

対象：2学年全員

コロナ禍の影響で、2年連続で中止となっていた「先輩講話」を、3年ぶりに復活させます。今年度は、従来の内容からリニューアルし、**本校卒の県内外の大学3年生の7名**を招いて、2学年全員を対象として実施します。乞うご期待！(ただし、今後の感染状況によっては中止等を検討します。)

